

うっしっしいー情報2023

9月市



豊岡農業改良普及センター

9月13日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が84万3千円、雌が75万4千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	7	0.975	838,829	6	0.779	596,017	13	726,762
丹波篠山	3	0.833	640,567	4	0.819	585,750	7	609,243
丹波	15	0.915	762,373	17	0.855	759,129	32	760,650
朝来	14	0.946	817,929	4	0.899	791,450	18	812,044
播磨	14	0.946	819,657	9	0.851	693,244	23	770,191
美方郡	57	0.958	825,907	49	0.870	792,112	106	810,285
豊岡	19	0.902	786,847	12	0.838	713,992	31	758,645
養父	31	0.984	939,187	14	0.865	829,871	45	905,178
摂津・神戸	22	1.017	902,800	17	0.861	728,071	39	826,636
県北C	5	0.948	905,740	2	0.922	696,850	7	846,057
市場全体	187	0.956	843,247	134	0.858	753,730	321	805,879

9月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	39	0.952	885,923	25	0.842	789,052	64	848,083
2	山伸土井	26	1.012	851,062	21	0.920	768,952	47	814,374
3	丸池土井	14	0.942	889,821	12	0.819	723,800	26	813,196
4	丸春土井	16	0.944	858,344	7	0.823	693,157	23	808,070
	総計	187	0.956	843,247	134	0.858	753,730	321	805,879
5	藤彦土井	14	0.993	860,514	14	0.876	733,307	28	796,911
6	照和土井	19	0.948	780,711	9	0.907	830,744	28	796,793
7	忠味土井	23	0.921	814,717	17	0.847	747,159	40	786,005
8	宮菊城	4	0.910	765,875	6	0.862	650,100	10	696,410

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	A	A++	A++	A	A++	A++ → A+
2	山伸土井	A+ → A	A++	C → D	A+	A+	A
3	丸池土井	D	A++	D	A → B	A++	A++
4	丸春土井	C	B	C	B	B	A++ → A+
5	藤彦土井	A++ → A+	A+ → A	C	D	D	A+ → A
6	照和土井	A+	A	B	A	A	A
7	忠味土井	B	A+	A	B	A+	A+
8	宮菊城	A	A+	A++	B	A+	A → B



バックナンバー
ははこちらから

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和5年9月現在)

イネWCS年間利用について

1 はじめに

近年の購入飼料価格は高止まりしており、まだまだ価格低下の見通しは立っていません。そのため、自給粗飼料の確保に取り組んでいる方も増えており、県下ではイネWCSの作付面積が拡大しています。豊岡市内においてもイネWCSをはじめ、多くの方が自給粗飼料生産に取り組まれています。今回は、他地域の取り組みとして、丹波普及センターの取組事例を紹介しますので、参考にいただければと思います。



写真1 イネWCS

丹波地域でイネWCSを利用する繁殖和牛農家の多くは、10月頃に収穫したイネWCSを収穫後の11月～5月までの約半年間給与を行っています。これは、年間利用量の確保が難しい、または、6月以降イネWCSの品質が低下し、食いが落ちる等の理由が考えられました。そこで、丹波普及センターは、適切に保管されたイネWCSを1年間通して、品質評価を行い、年間給与が可能であるか調査しました。以下、調査結果についてお伝えします。

2 調査内容

(1) 飼料成分分析

イネWCSの保存期間の経過による品質の変化について知るため、R3年10月上旬に収穫したイネWCSを①8ヶ月後、②11ヶ月後、③13ヶ月後の3回分析しました。

飼料成分分析結果から、1番長期間置いていたロール(③)は、V-スコア90点以上と良好でした(表1)。また、全ての時期において良質発酵しており、適切に保管ができれば長期保存しても品質に問題ないことが確認できました。

表1 飼料成分分析結果(リーフスター)

乾物中	水分	pH	酪酸	乳酸	V-スコア	
調	①	68.6	3.9	0.05	4.77	95
査	②	63.3	4.2	0.32	3.19	84
日	③	68.4	4.1	0.00	3.47	92

移植日：5/17 出穂日：8/31 収穫日：10/7(黄熟期)

・専用収穫機によるダイレクトカットで収穫、乳酸菌添加あり。

評価方法

pH：4.2以下「良」 酪酸：0.1%以下「良」、0.4%以上「劣」

V-スコア(発酵品質を評価する指標)

：80点以上「良」、60～80点「可」、60点以下「不良」

(2) 簡易嗜好性調査

次に保存期間の差による牛の嗜好性を知るため、収穫後1年間置いていたイネWCS(写真2：右手)と収穫から1ヶ月経過したイネWCS(写真2：左手)を同時給与しました(写真2)。その結果、収穫から1ヶ月経過したイネWCSの匂いを確認した後(写真3)に、1年間置いていたイネWCSに食いつきました(写真4)。1年間置いていたイネWCSでも問題無く食べることが分かりました。



写真2 簡易嗜好性調査実施



写真3 匂い確認中



写真4 長期保存イネWCSを採食

3 さいごに

品質評価の結果から、イネWCSの年間給与が可能であることが分かりました。さらに、イネWCSを年間給与した場合、半年給与した場合、給与しなかった場合で飼料コストを比較しました。その結果、給与しなかった場合と比べて、1年間1頭あたりで考えると、半年給与で11,000円、年間給与で22,000円安くなりました(表2)。年間給与ができれば、大幅な飼料コスト削減が可能となります。

表2 イネWCS給与による飼料コスト(R4年11月丹波普及センター調べ)

	年間給与	半年給与	給与なし
イネWCS(kg)：20円	5kg※	5kg	—
イタリアンライグラス(kg)：64円	2kg	2kg	2kg
スーダン(kg)：80円	—	—	2kg
配合飼料(kg)：77.5円	1kg	1kg	1kg
給与量合計	8kg	8kg	5kg
1頭あたりの飼料コスト(年間)	112,000円	123,000円	134,000円

22,000円安

11,000円安

※イネWCSは、デンプン含量が多く、過肥による繁殖成績低下につながる可能性があるため、5～6kg給与が適切(引用：稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル第7版)です。

イネWCSの年間利用に向けて、作付面積の拡大を検討してみませんか？

また、イネWCSだけでなく、イタリアンライグラスやスーダン、ソルゴーといった粗飼料栽培で、より安定した飼料確保を目指しましょう！！

